





## 「日本郵便の父」 前島密 生誕180年

### 前島密年譜

- 1835年(天保6年) 0歳 正月7日、越後国頸城郡津有村下池部(現在の新潟県上越市)で誕生。
- 1866年(慶応2年) 31歳 「漢字御廃止之儀」を将軍徳川慶喜に提出する。
- 1870年(明治3年) 35歳 鉄道建設のための収支計算書「鉄道臆測」を作成する。租税権正と駅逓権正を兼任し、新式郵便制度を立案する。イギリスに渡り、郵便事業を学ぶ。
- 1871年(明治4年) 36歳 郵便創業。イギリスから帰国し、駅逓頭になる。新聞低料送達の条文を規則に加える。
- 1872年(明治5年) 37歳 郵便報知新聞の創刊に関与する。陸運元会社(現在の日本通運株式会社)の設立を助ける。
- 1875年(明治8年) 40歳 郵便為替、郵便貯金の取り扱いを開始。生命保険、養老年金についても構想を持つ。
- 1876年(明治9年) 41歳 訓盲院設立に尽力する。
- 1877年(明治10年) 42歳 第1回内国勸業博覧会審査官長になる。
- 1880年(明治13年) 45歳 日本海員救済会発足に尽力。
- 1887年(明治20年) 52歳 東京専門学校(早稲田大学の前身)校長になる。関西鉄道株式会社社長になる。
- 1890年(明治23年) 55歳 東京郵便電信学校の設立に尽力する。電話の交換業務を開始する。
- 1891年(明治24年) 56歳 逓信次官を辞す。
- 1893年(明治26年) 58歳 東京馬車鉄道会社監査役になる。
- 1896年(明治29年) 61歳 北越鉄道株式会社社長になる。
- 1905年(明治38年) 70歳 日本海員救済会理事長になる。
- 1906年(明治39年) 71歳 勲二等瑞宝章を受ける。
- 1916年(大正5年) 81歳 逓信省構内に寿像が建設され、除幕式に出席する。
- 1919年(大正8年) 84歳 4月27日 神奈川県三浦郡西浦村大字芦名(現在の横須賀市芦名)の別荘 如々山荘にて没。



前島密 明治中期